

## 武田八幡神社本殿現地見学会

### 一匠の技を目の前で

5月11日(土)に武田八幡宮で本殿修理の現地見学会を開催しました。

武田八幡宮は、甲斐武田氏の初代当主にあたる信義が、この地で元服したと伝えられ、以降武田氏と深いつながりのある神社です。

修理を行っている本殿は、武田信玄の時代に再建されたもので、社殿の装飾に室町時代の特色が顕著なことや、武田氏の最盛期を代表する建造物であることから、昭和4年に国重要文化財に指定されました。

今回の修理は、昭和55年以来、約40年ぶりで、日本古来の伝統技術を継承する専門職人



▲本殿見学会の様子

による檜皮ひのかわの屋根葺替ふきかえを中心とした修理です。檜皮葺屋根は、柿・茅と並ぶ日本を代表する伝統的な屋根の一つです。

参加者の方々は、本殿周囲を囲む足場を登り、普段は間近で見ることが出来ない屋根を目の前に、修理を行っている様子を見学しました。

工事担当者から本殿の特徴や檜皮葺屋根の修理方法の解説もあり、参加者は、職人の美しく屋根を仕上げている所作に感動されていました。

また屋根の素材となる原皮もとかわを葺替用に仕立てる檜皮整形作業の公開や、竹釘を使用した檜皮葺きの体験ブースも開設し、日本の伝統技術を体感する機会をもつめました。

今回の見学会が、多くの方々に文化財を守り伝えていく想いが芽生えるきっかけとなれば幸いです。

(文化財担当 半澤直史)

※広報5月号P.20にらさき遺産めぐりの「遷宮二〇〇年」は、正しくは「御鎮座二〇〇年」となります。お詫びして訂正します。



## 荊崎高校サッカー部 23年ぶりの快挙！

6月1日(土)～3日(月)、茨城県で関東高校サッカー大会が開催され、山梨県1位代表として荊崎高校サッカー部が出場しました。1回戦、茨城県代表水戸商業高校に1-1(PK5-3)で勝利し、続く準決勝も神奈川県代表日大藤沢高校に3-2で勝利しました。東京都代表國學院久我山高校との決勝戦は惜しくも1-2で敗れ、準優勝でしたが、荊崎高校が関東高校サッカー大会で決勝に進出したのは23年ぶりのことです。さらなる活躍を期待しています。



## プロジェクトリーダーを委嘱しました

昨年から実施している荊崎の文化を育み、地域が元気になることを目的に企画された市民が主役の文化プロジェクト。今年は創作歴史劇「王仁塚物語」を上演します。6月3日(月)、吉本興業山梨住みます芸人「ぴっかり高木とらしいそうたろう」の2人にそのプロジェクトリーダーを委嘱しました。2人からは「作品を通して今まで気づけなかった荊崎の魅力を再発見できると思う。荊崎をもっと好きになってほしい。」とメッセージをいただきました。



## 貴重な浄財をご寄附いただきました

6月4日(火)、葬儀場などを運営する㈱出雲様から貴重な浄財をご寄附いただきました。㈱出雲様では、葬儀の際の返礼用の手提げ袋の回収を行い、それを再利用することで環境に配慮した活動と経費節減に取り組んでおられます。本市の福祉活動に活用してほしいとの願いから、平成24年度よりこの活動を通して削減された浄財をご寄附いただいています。いただいたご寄附は本市の社会福祉の充実に役立ててまいります。



## 梅雨の晴れ間に親子でかけっこ教室！

6月8日(土)、荊崎市中央公園で「親子で楽しくかけっこ教室！」を開催しました。このイベントは子どもたちに体を動かすことを好きになってもらうこと、親子の絆をより深めてもらうことを目的に昨年開催しています。

今年もロンドン五輪陸上競技日本代表選手の佐野夢加さんを講師に迎え、親子でのストレッチ運動や走り方の基本を学んだほか、最後は親子全員でチームに分かれてリレーも行いました。

